

令和5年度 第28回 三ヶ日東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年1月25日（木）12時10分～15時40分
- 2 開催場所 三ヶ日東小学校 大会議室
- 3 出席委員 楠 道寛、大野 周一、大野 恵美子、若松 一也、清水 貴仁
石原 正仁、山本 万智子
- 4 欠席委員 竹下 豊子、和田 勝美、渥美 浩之
- 5 学校支援コーディネーター 染葉 直美
- 6 学 校 山田 芳和（校長）、吉川 利行（教頭）、高嶋 博（教務主任）
鈴木 康二（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 智子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 康二

10 議長の選出

司会（楠 道寛委員）から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、石原正仁委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 学校評価の成果と課題から
 - ・児童の自己評価
 - ・学校の自己評価
 - ・学校関係者評価
- (2) 教育活動や児童の様子に関すること
- (3) 学校支援活動について

12 会議記録

司会から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校評価の成果と課題から

- ・児童の自己評価

《説明：6年生代表生徒》

以前は自分にあまり自信が持てなかったが、部活動や学習など、日々、自分にできることを一生懸命に取り組んできた結果、今は自分に自信を持ち挑戦する気持ちが持てるようになった。社会の自由研究、読書感想文などで入選し、自分の力を認めてもらえとても嬉しかった。これからも自分に自信を持ち、色々なことに挑戦して自分の力を伸ばしていきたい。

2学期に行われた東小ウォークでは、地域の方々の御協力のおかげで自分達の学区のことについて詳しく知ることができ、今まで以上に東小が好きになった。卒業まで残り僅かとなったが、下の学年の子たちに東小の良さをしっかりと伝えていきたい。

《発言内容》

◇6年生としての自覚を感じた。東小で頑張って学んで力を付けたことや、自信を付けたことを中学校で発揮してってもらいたい。新たな友達もたくさんつくって、楽しい中学校生活を送ってもらいたい。（大野周一会長）

・学校の自己評価

《説明：山本教諭》

いじめ防止について、学期に1回程度のアンケートを実施し、悪口などを言われたなど本人が嫌だったと感じた場合、まずは本人の思いを受け入れて、いじめと認知した場合は、しっかりと対応してきた。現在のいじめ認知件数は32件、そのうち3件は解消している。残りの案件は経過観察中であり、解消となるまでは少なくとも3ヶ月以上は相手に対して嫌だと思ふ行為が治まっていることが目安となる。

1月15日に行ったアンケートでは、経過観察中の児童を含め新たないじめに繋がる案件は無かった。全体的に落ち着いた学校生活を送られており、経過観察中の案件についても、今後、解消の判断ができると思う。全職員で見守っていく。

《説明：高島教務主任》

別紙資料「令和5年度学校評価アンケート結果」に基づき説明後、授業参観を実施。

《発言内容》

◇素直で明るく率先して前に出て発表している様子を見ることができた。（清水貴仁委員）

◇児童アンケートで、96%の子供達が「学校に行くのは楽しいと考えている」となっており、学力云々より楽しく学校に通えるのが大事だと思うので、全ての児童がそう感じて通えるようになってほしい。地域の皆さんの御協力のおかげで、様々な体験学習ができているのも学校が楽しいと感じる要因になっていると思うので、これからも色々な体験学習をして頂きたい。（山本万智子委員）

◇体験学習の内容などについて決めるときの判断を児童たちに任せていることにとっても共感した。（若松一也委員）

◇先生方が、子供達が興味を持つような投げ掛けをしているので、沢山の児童達が挙手していた。サポーター等の外部人材を多く活用したことが高く評価されており、自分自信も関わったことから嬉しく思う。（大野恵美子委員）

◇授業の様子を見て、児童アンケートの通り前向きに楽しく授業を受けていることがとてもよく分かった。先生方が、子供達の気持ちをよく捉えて工夫して楽しく盛り上げて授業を行っていることもよく分かった。家庭学習の取り組み

について、内容を重視した分、学習時間への意識が低下したとあるが、どのような意識付けを行ったのか。(大野周一会長)

◇家庭学習の手引きに基づきガイダンスしている。自主学習を工夫することにより、やらされるのではなく、自分のためにやる勉強であることを意識付けした。(高島教務主任)

◇児童アンケートの「困ったことや悩みがあるとき親や先生に相談できる」について、素直に相談できる子が半分程度だと考えると少し心配である。大人はしっかり話を聞いて相談に乗ってくれることをしっかり伝えて、対応できるようにして頂きたい。(石原正仁副会長)

◇いじめ防止について、いじめが解消されたとしても中学校で再発することがある。6年生の子供達の状況を中学校側に引継ぎしているのか。(大野周一会長)

◇当地区は、小中学校の連携が極めて高い。いじめの状況についても、中学校へ赴きしっかり伝えている。また、そのためには、記録の蓄積が非常に大切だと思うので、今後、更に取り組んでいく。(山田校長)

◇教科担任制について、成果、課題について教えて頂きたい。(大野恵美子委員)

◇教育委員会から高学年を中心に教科担任制を取り入れていくよう指導がきている。本校については、4年ほど前から先進的に実施している。低学年については、担任の先生が近くにいないと不安になる子供がいるので行っていない。国語や算数については、担任が教える方が理解度が上がるとの担任からの意見があり、それを受けて担任が行っている。外国語、理科、体育、音楽、図工などは教科担任制を行っている。昨年度の本協議会で意見があった通り、無理のない範囲内で実施している。図工など専門性の高い教員が教えることができるため、子供達が楽しく授業を受けており、とても成果がでている。(山田校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 教育活動や児童の様子に関すること

《説明：吉川教頭》

教育活動に関する感想や課題、本協議会でサポートできることなどあれば意見を頂きたい。

《発言内容》

◇一年間様々な活動を見てきたが、子供達がやらされているのではなく、楽しんで自らやりたくてやっている様子を見て、先生方が上手に働きかけていることに感心した。(石原正仁副会長)

◇現在、様々な形で地域の方々がサポート活動を行っているが、その他でサポートを希望することがあれば、この場で学校側から伝えて頂きたい。(大野周一会長)

◇コロナが収束したので、来年度からクラブ活動を再開する予定である。子供達にアンケートをしたところ、ICT、料理、グラウンドゴルフ、イラストなどの希望があった。クラブ活動の内容が確定したら、地域の方々にクラブ活動の講師になっていただける方を御紹介して頂きたい。(吉川教頭)

◇様々な人材がいるので、クラブ活動の内容が確定したら知っている方々に働きかけしていく。（大野周一会長）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 学校支援活動について

【学校サポーターについて】

《説明：染葉学校支援CD》

別紙資料「令和5年度サポーター活動表」に基づき説明。

《発言内容》

◇今年度、とても充実した体験等の活動ができたので、本校の良さとして続けていってほしい。（石原正仁副会長）

◇現在、来年度の教育課程を検討しているので、人材が必要な場合は改めてご相談させていただく。（山田校長）

【ステッカーの引継ぎと管理、子供見守りボランティア等について】

《説明：吉川教頭》

子供見守りステッカーについて、来年度の自治会役員、PTA役員の皆さんに引き継いでいく。子供見守りボランティアの募集についても、来年度のPTA役員の皆さんに投げかけて、多くの方々に参加して頂ければと思っている。

《発言内容》

◇子供見守りステッカーを貼った車を見かけると安心感があるので、一定の効果があると思われる。子供見守りボランティアも新たな試みとして効果が期待できるので、是非、進めていってほしい。（大野周一会長）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

■その他連絡事項等

○次回協議会時の学校運営協議会自己評価の発表資料として、自己評価表を記載しておく。

○次回協議会日程

開催日時：令和6年2月20日（火）15時00分～16時30分